

## オレゴン 2022 世界陸上競技選手権大会 競歩日本代表選手選考要項

### 1. 編成方針

2022年度最重要な国際競技会と位置づけ、本大会でメダル獲得及び入賞が期待される競技者、並びに2024年に開催されるパリオリンピックで活躍が期待される競技者で選手団を編成する。

### 2. 開催地

オレゴン (アメリカ)

### 3. 開催期間

2022年7月15日(金)～7月24日(日)

### 4. 開催種目

#### (1) 男子

20km 競歩、35km 競歩

#### (2) 女子

20km 競歩、35km 競歩

### 5. 主なスケジュール

#### 2020年

11月30日 男女35km 競歩資格記録有効期間開始

12月27日 男女20km 競歩資格記録有効期間開始

#### 2022年

4月中旬 全選考競技会終了

4月下旬 第1次日本代表選手発表

男女20km 競歩、男女35km 競歩の参加標準記録突破者による選考

5月29日 男女35km 競歩参加標準記録有効期間終了

5月下旬 第2次日本代表発表

男女35km 競歩の世界ランキング含めた選考

6月26日 男女20km 競歩参加標準記録有効期間終了

6月下旬 第3次日本代表発表

男女20km 競歩の世界ランキング含めた選考

### 2. 選考競技会

#### (1) 男子20km 競歩・女子20km 競歩

- ・第29回世界競歩チーム選手権大会 (2022/マスカット)
- ・第105回日本陸上競技選手権大会・20km 競歩 (2022/神戸)

- ・第46回全日本競歩能美大会（2022／能美）

(2) 男子 35km 競歩・女子 35km 競歩

- ・第29回世界競歩チーム選手権大会（2022／マスカット）
- ・第106回日本陸上競技選手権大会・35km 競歩（2022／輪島）

3. 資格記録

WAが定める参加標準記録、ワールドランキングにかかる資格記録の有効期限は下記の通り。

男女 20km 競歩 2020年12月27日～2022年6月26日

男女 35km(50km)競歩 2020年11月30日～2022年5月29日

(1) 参加標準記録

種目	男子	女子
20km 競歩	1時間21分00秒	1時間31分00秒
35km 競歩 (50km 競歩)	2時間33分00秒 (3時間50分00秒)	2時間54分00秒 (4時間25分00秒)

(2) 派遣設定記録

種目	男子	女子
20km 競歩	1時間20分00秒	1時間30分00秒
35km 競歩 (50km 競歩)	2時間30分00秒 (3時間45分00秒)	2時間51分00秒 (4時間20分00秒)

※派遣設定記録：本連盟が定める、世界ランキング12位相当の記録

派遣設定記録の有効期間は、参加資格記録の有効期間に準じる。

4. 選考基準

編成方針に基づき、各種目のファイナルエントリー時点で、ワールドアスレックス（以下「WA」という。）が定める本大会の参加資格を満たした競技者の中から日本代表選手を選考する。

種目ごとの内定条件と選考条件を、下記のとおり定める。ただし、ドーハ2019世界選手権優勝者のワイルドカードによる出場資格を得ている競技者は選考における順位には含まないものとする。

(1) 内定条件

各選考競技会日本人最上位者で、全選考競技会終了までに参加資格記録として有効な競技会において派遣設定記録を満たした競技者

(2) 選考条件

- 1) 全選考競技会終了時点までに参加標準記録を満たした競技者で、各選考競技会において日本人3位以内の競技者の中から、各選考競技会での記録・順位・レース展開・タイム差・気象条件等を総合的に勘案しつつ、歩型違反による失格のリスクの程度も併せて勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者
- 2) 参加資格を満たした競技者で、各選考競技会において日本人3位以内の競技者の中から、各選考競技会での記録・順位・レース展開・タイム差・気象条件等を総合的に勘案しつつ、歩型違反による失格のリスクの程度も併せて勘案し、本大会で活躍が期待されると評価された競技者

## 5. 選考方法

- (1) 選考基準 (1) による選考は、即時内定とし、専務理事が承認することにより決定する。
- (2) 選考基準 (2) 1) による選考は、全選考競技会終了後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会が原案を作成し、選考委員会の議を経て、専務理事が承認することにより決定する。
- (3) 選考基準 (2) 2) による選考は、2022年6月下旬にワールドアスレチックス（以下「WA」という。）から本大会の出場有資格者が発表された後、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会が原案を作成し、専務理事が承認することにより決定する。

## 6. ドーハ2019世界選手権優勝者のワイルドカードの権利行使

2019年に開催されたドーハ世界選手権の男女20kmの優勝者には、今大会の男女20km競歩の出場資格が与えられ、男女50kmの優勝者には今大会の男女35km競歩の出場資格が与えられる。

ワイルドカードによる出場資格は、各国に割り当てられた1カ国3名とは別枠として認められているため、競技者本人に出場意思があれば、編成方針及び選考基準に則り、強化委員会が原案を作成し、選考委員会の議を経て、専務理事が承認することにより決定する。

## 7. 補足

- (1) 代表選手は、編成方針及び選考基準に則り、参加資格記録として有効な競技会において選考されるが、その派遣人数はWAが定めるエントリー数の上限の枠を保証するものではない。
- (2) 代表選手は本連盟が定める義務を遵守するものとする。
- (3) 下記の項目に該当する場合は、代表を取消すことがある。
  - 1) アンチ・ドーピング規準に反した場合
  - 2) 故障等により、競技力を発揮できない事態が生じた場合
  - 3) 本連盟が定める義務を遵守しない場合
- (4) 代表選手の決定から本大会までの期間が長いことに配慮し、補欠を選考することができる。ファイナルエントリーまでに正選手に故障などが生じた場合は、補欠が正選手となり本大会に出場する。
- (5) 天災、疫病の流行その他の理由による選考競技会の開催中止またはその開催方法等の変更に伴い、選考競技会及び選考基準について、専務理事の決定により、変更することができる。ただし、選考基準について基本的な考え方の変更を伴う場合には、理事会の決議を要するものとする。

以上